

地域集会施設利用状況（市街地）分析

1. 目的

地域集会施設再整備計画に位置づけをしている 5 つの機能の利用実態を把握する

2. 対象期間

H30 年度及び R2 年～R4 年 12 月末

3. 抽出方法

H30 年度は都市経営係による利用集計表データ、R2 年度以降は使用申請書に基づく集計データ。

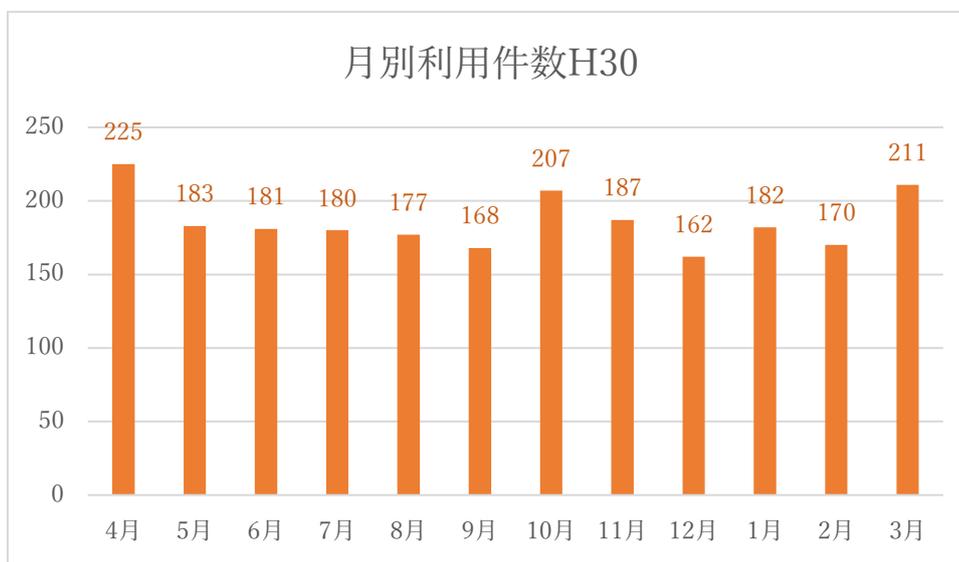
4. 地域集会施設の利用状況

(1) コロナ禍以前の利用状況

コロナ禍の影響を受けていない H30 年度の利用状況（件数）は、図 1 のとおりであり、年間 2,233 件利用されていました。

月別では 4 月、10 月、3 月と利用が多い状況であり、役員会、総会等各種会合が多いと推測します。

図 1 月別市街地施設利用件数



年間の利用件数は表 1 のとおりです。(2)による施設閉鎖及び利用自粛の影響から利用が落ち込んでいますが、R4 年度は回復傾向が見られます。

表 1 年間利用件数

	年間件数	平均月間利用件数
H30	2,233	186.1
R1	2,131	177.6
R2	1,684	140.0
R3	1,746	145.5
R4 (12 月末現在)	1,715	190.6

(2) 施設閉鎖等の状況

令和元年 12 月に中国にて新型コロナウイルスの発症が確認されて以降、表 2 の経過があり、今日に至っています。

表 2 施設閉鎖等の状況表

	内容
R1	● 閉鎖等なし
R2	● 4.17~5.22 緊急事態宣言 ● <u>4.18~5.25 施設閉鎖 (38 日間)</u> ● 2.28~3.18 道独自緊急事態宣言
R3	● 5.9~5.15 まん延防止 ● 5.16~6.20 緊急事態宣言 ● <u>5.17~6.20 施設閉鎖 (35 日間)</u> ● 6.21~7.11 まん延防止 ● 8.2~8.26 まん延防止 ● 8.27~9.30 緊急事態宣言 ● <u>8.27~9.30 施設閉鎖 (35 日間)</u> ● 1/27~3.21 まん延防止
R4	● 閉鎖等なし

(3) 月別利用状況

R2~R4 年の月別利用状況は図 2~図 4 のとおりです。R2,R3 年度は、(2)による影響を強く受けています。一方で施設閉鎖解除直後に利用が集中しているものではなく、定期的な使用が多いと推測されます。

図 2 月別利用状況 R2 年度

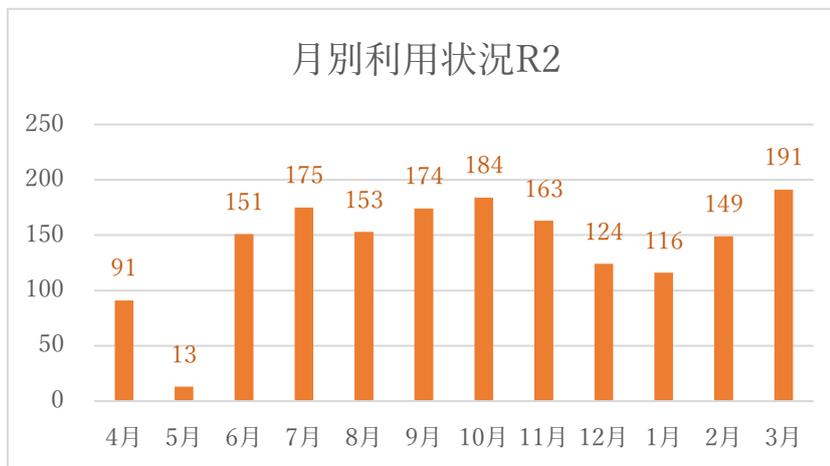


図 3 月別利用状況 R3 年度

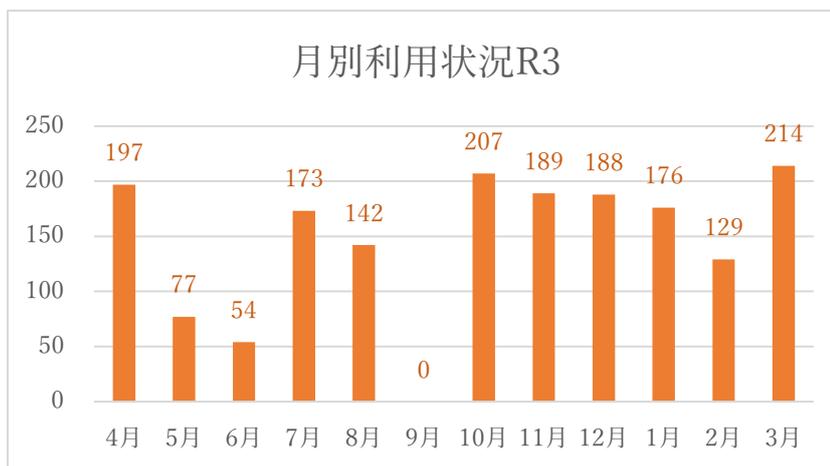
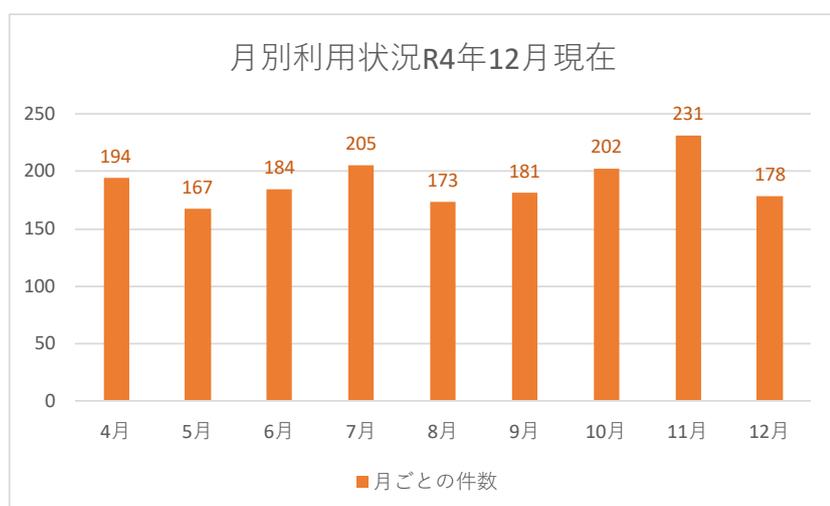


図 4 月別利用状況 R4 年（12 月末現在）

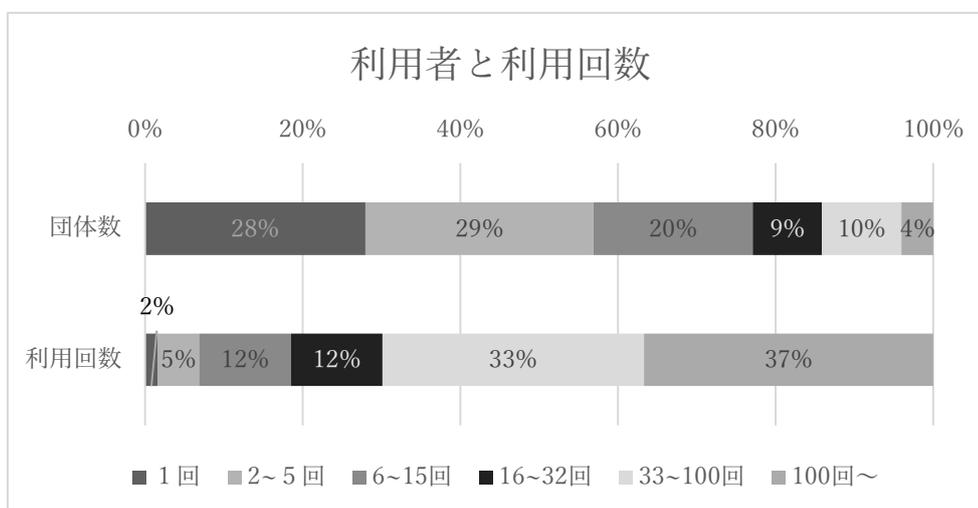


(4) 利用者（団体）状況

R2～R4 年度（R4.12 現在）に利用された団体等の利用者実数は 297 名（団体）です。図 5 のとおり、団体数に着目するとこの期間内に 1 回から 5 回利用された利用者は全体の半数以上を占めます。16 回以上の頻度の高い利用者は全体の 22% を占めています。

一方で利用回数に着目すると期間内に 1 回から 5 回利用された利用者は全体利用件数の 6%に留まり、16 回以上利用している団体は全体利用件数の 80%を超える利用があることが分かります。約 2 割の利用団体によって約 8 割の利用があり、繰り返し利用されている状況が分かります。

図 5 利用者別 R2～R4 施設利用回数



(5) 利用用途別状況

「芽室町地域集会施設再整備計画」では地域集会施設の機能は、①地域活動（コミュニティ）の拠点、②災害時の一時避難場所（駐車場含む）、③子育て世代が集う場所、④高齢者の集う場所、⑤高齢者の健康増進の場所の 5 つを基本としています。

R2～R4 の利用状況を用途別にまとめると表 3 のとおりであり、芽室町地域集会施設再整備計画で位置づけしている機能を果たしているとみてとれます。割合としては、定期的な集まりが多い傾向にあります。

集計期間における避難場所としての使用は令和 3 年 12 月 2 日前日の強風災害により上美生農村環境改善センター避難所開設。令和 4 年 12 月 23 日～25 日大雪災害により南地区コミュニティセンター避難所開設しています。

R2 及び R3 と R4 年度を比較すると、R4 ではコミュニティ活動・健康増進の割合が減少し高齢者の集い・子育て世代の集いが増加しています。コロナ禍において活動自粛が徐々に回復してきたものと推測します。

表 3 利用用途別使用件数割合 (%)

	コミュニティ活動	高齢者の集い	子育て世代の集い	健康増進	その他
R2	12	23	3	38	23
R3	11	23	5	33	29
R4	9	27	7	31	26
平均	10	24	5	35	26

申請者（又は団体）名称により下記の区分で集計を行っています。

*コミュニティ活動：町内会、サークル活動

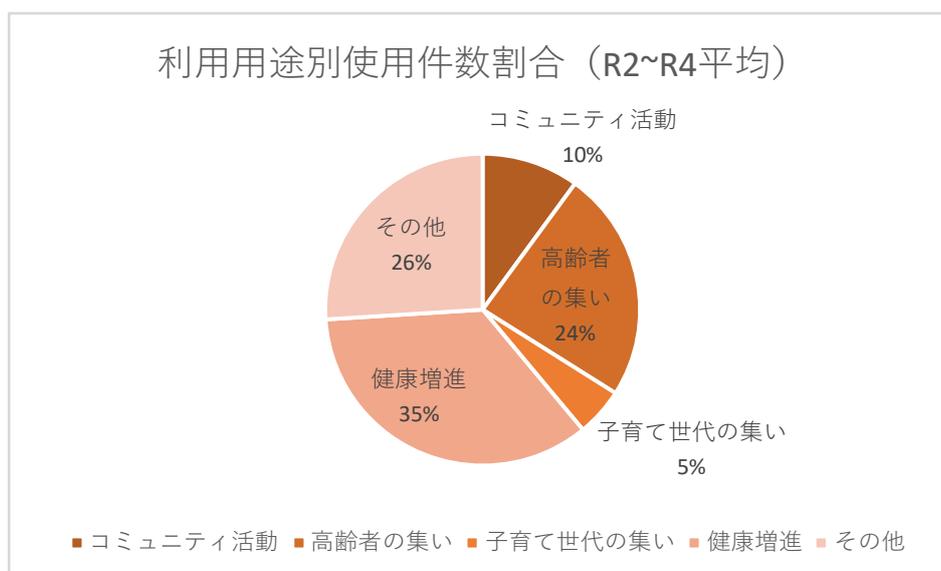
*高齢者の集い：老人会

*子育て世代の集い：子供の利用が半数以上の集まり

*健康増進：体操等。年齢確認をしていないため高齢者限定かは不明確。

*その他：習い事（語学、講習会、習字等）、町の事業等

図 6 利用用途別使用件数割合 (%)



(6) 利用時間状況

1回の利用あたりの利用時間では2時間が最も多く、1時間が次に多い結果となります。図8のとおり1時間の利用が多いのは、健康増進であり、2時間ではコミュニティ活動・高齢者の集い、子育て世代の集いは長時間の利用も多い傾向があります。

R2及びR3とR4年度を比較すると、1・2時間の利用割合がR4では減少し、3時間超の利用割合が増加しています。コロナ禍にあつて徐々に長時間の利用が増えてきていることがみてとれます。

表 4 1回あたりの利用時間割合 (%)

	1時間	2時間	3時間	3~5時間	5時間以上
R2	21	45	14	16	4
R3	23	42	18	14	3
R4	16	43	18	19	4
平均	20	43	17	16	4

図 7 1回あたりの利用時間割合

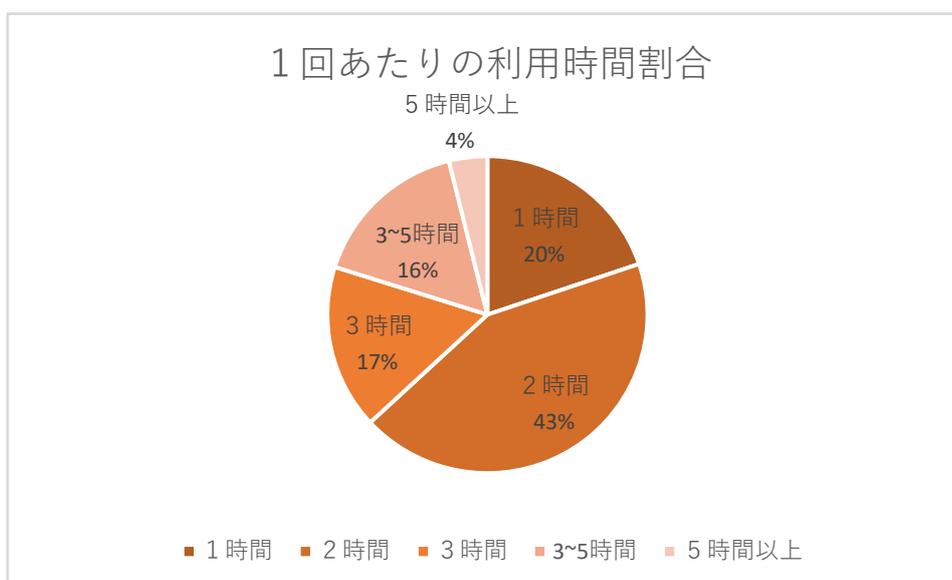
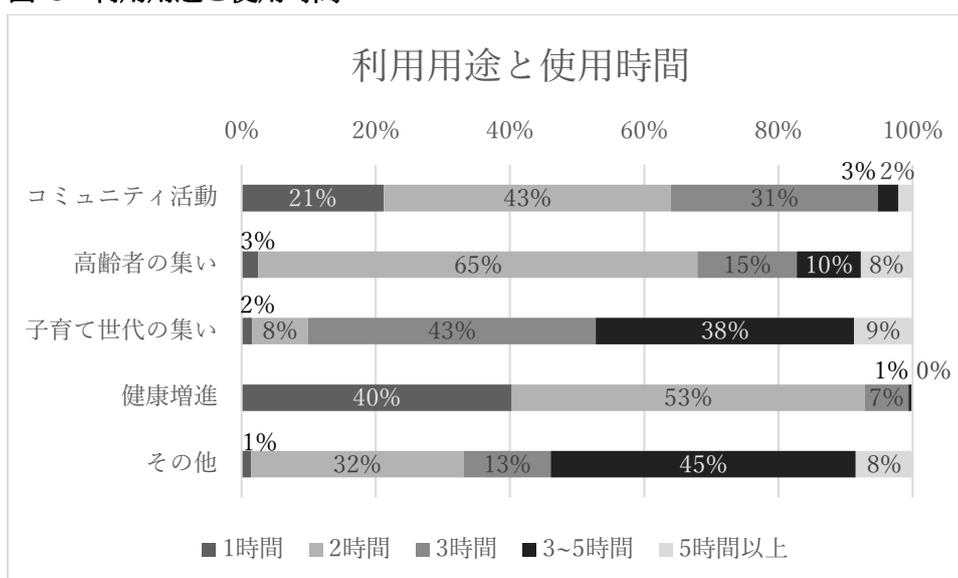


図 8 利用用途と使用時間



(7) 利用人数状況

利用人数については、15名以下の3区分は割合が均衡しています。利用用途ごとにみると、コミュニティ活動では5名以下の少人数の活動も15~30名の比較的大人数の活動も行われています。高齢者の集い、子育て世代の集いでは15名超の大人数での活動が行われています。

表 5 1回あたりの利用人数割合 (%)

	1~5名	6~10名	10~15名	15~30名	30名以上
R2	24	26	31	18	1
R3	26	25	28	20	2
R4	25	27	27	19	2
平均	25	26	29	19	2

図 9 1回あたりの利用人数割合 (%)

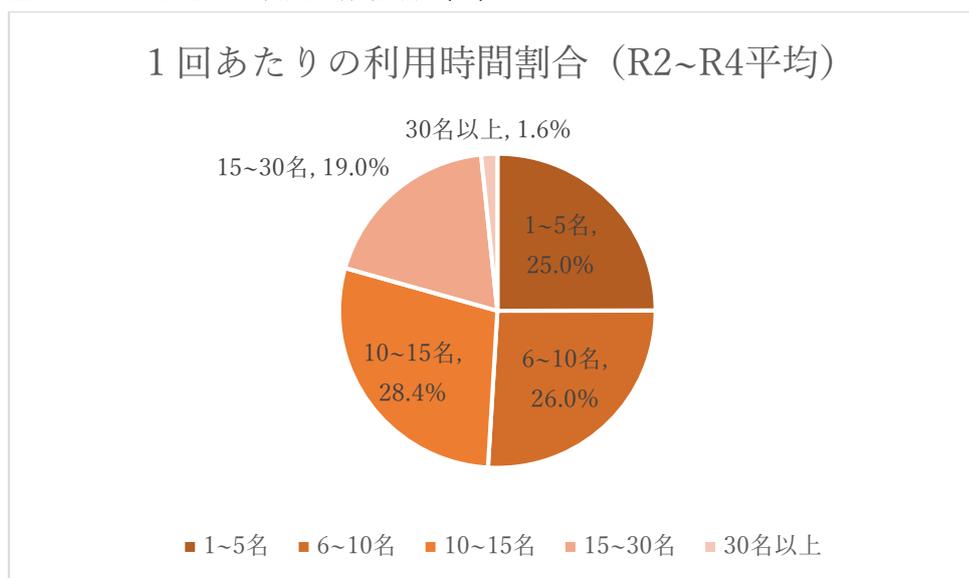


図 10 利用用途と使用人数

